＜様式１１－１＞

令和4（2022）年度

学　童　ク　ラ　ブ　事　業　年　間　活　動　報　告　書

清水児童館

	A	B	C	D
4		活動の基本目標（指針）	主　な　取　組　名	成　　果　　と　　課　　題
6	生活援助機能	安全・衛生の確保	登下館時の安全指導	主に1年を対象に学校から児童館までの交通安全について指導を行った。帰り道でのトラブルや、支援が必要な児童の送り迎え、犯行予告への対応等、学校とも共有しすすめた。
7			手洗い・うがい・消毒の慣行	感染症予防を念頭に置き、子どもたちにも毎日声掛け。細かな確認や声掛けで概ねできている。
8		健康の管理・情緒の安定	ﾊﾝｶﾁ・ﾃｨｯｼｭの携帯指導	保護者にも周知しているが全く持参しない児童もいる。引き続き声掛けし、必要性を伝えていく。
9			挨拶の慣行	登館時、下館時に職員が対応し挨拶することを習慣化できた。
10			片付け・整理整頓指導	制服や制帽があるため子どもの管理するものの総量が多い。また同じ見た目の物なので間違えて持って帰ってしまう事も多発していた為、ロッカーを一人ずつ決め、整理整頓の声掛け。物の管理を子どもだけの責任にするのではなく、職員が一緒に片付け、物の管理を手伝うようにすると、少しずつ整い始め、改善されてきた。
11			子どもの状況等の把握	職員を各室に配置し、状況把握に努めた。トラブルがあるとそこに職員が取られるので、職員がお互いにどういう状況にあるのか把握し連携が必要。
12			安全と衛生及び健康管理	感染予防を踏まえ、手洗い・うがい・マスクの着用を徹底。お弁当やおやつの場面でも学童机を買い足し、1人一台机を使い間隔を取れるようにした。
13			遊びの指導と声かけ	外遊びではコロナの為のマスク着用を、季節や感染状況によって指導。また遊び内容も季節ごとに工夫するなどして、バリエーションを広げた。
14			おやつの提供	学校から帰る時間も遅く、学童で過ごす時間が短い中でおやつの時間もゆったりとは取れない、コロナの中でスペースも難しい現状があった。3種類ほどおやつを用意し、食べられる子は全部、苦手な子は一つでも食べてほしいと声掛け。登録児童でコロナ陽性が出た時はおやつの提供をストップした。
15		基本的生活習慣の確立	習慣づくりの指導と援助	放課後の時間が少ない中で宿題や遊びの時間管理など、自分たちなりに予定し行動できている。設定行事などが入ると貴重な時間が減ると反発が多いが、事前に知らせておくことや、また過ごす時間が長い日に設定を入れるようにすることなど工夫し、訓練等はけじめをつけて早くやると短く済むと伝えるとしぶしぶながらも取り組み、短時間で終えられるようになった。
16		社会生活技術の獲得	（時間の管理・学習時間の設定・朝の会）	
17			日々の生活における様々な個別対応	子ども同士のトラブルなど有った時は対象の保護者と連絡を取る。子どもや保護者の思いを聞きとり見守りをした。またお迎え時には、トラブル以降の子どもの様子や関りを伝え対応していった。
18				
19	子ども育成機能		お誕生日やデー	リクエストおやつを用意し、お誕生日カードを渡した。ひとりひとりの為のお祝いが出来た。
20		生活体験の拡大	入会式	当日の司会を子ども達から募集し、学童での遊び紹介として、コマ・けん玉・LAQ作品・ダイススタッキング等を披露。子ども達中心の式になり、新入生の保護者も温かく見守ってくださり、とても和やかな雰囲気となった。
21		社会性の養成	学童縁日遊び	コイン落としや金魚すくい、ヨーヨー釣り等、お祭りのような平常ではできない水を使った遊びを実施。２年生以上の子ども達から実行委員を募集し、遊びの内容を決め、職員と一緒にコーナーの準備をし、要員として入ってもらう。事前の話し合いや、遊びを体験してみての感想などもお願いする。当日もてきぱきと動き、職員が驚くほど力を発揮していた。参加した子どもたちは特別な遊びをとても喜んでいた。
22		自立の促進と自主性の尊重	体育館遊び	７月から８月は高温になるため、テラスでの運動遊びができなかったので、今年度より体育館を借りて機会を設けた。希望した日数すべてが通ることはないが、冷房の効いた中で、テラスよりも広く、のびのびと遊ぶことができた。次年度も続けていきたい。
23			ぷにょボール作り	風船を使った工作キットを買い、週間を設け作成。登録児童が１～５年と年齢層が幅広い中、どの学年でも楽しめると言うものではなかった。
24			学童クラブ修了式	子どもたちの一年の成長を振り返り、職員からのメッセージと、その子の写真を貼った修了記念カードを館長から一人ずつ渡した。カードは保護者にも見てもらい、連絡帳に感想を書かれる方もあった。
25				
26	子育て支援機能		連絡帳の活用	必要性を伝え、毎日の声掛けで提出率が上がった。健康チェック表を入れ各児童の健康管理にも利用。
27		子育てに必要な情報の提供と交換	小学校との連携	おたよりを持参、また学校の予定などを電話で確認、気になる児童の対応など相談した。
28			専門機関との連携	専門機関に子ども様子を見てもらい、対応を相談、保護者とも共有して保育を行った。
29			なかよし発行	おたよりを通して月ごとの予定を伝える。裏面を活用してどのような保育を行っているのか伝えるよう工夫。また玄関には子どもたちの遊んでいる様子の写真をはり出し、学童での生活がどのようなものかお迎えの保護者に見てもらえるようにした。
30		子育ての仲間づくり	お弁当いらんデー	保護者から強い希望があった。学校給食のない日、長期休暇中にお弁当を発注。数種類用意し、子ども達が希望のものを選べるようにした。
31			個人懇談	保育懇談会で全体的な説明会をしていないため、6月、11月と年2回実施。子どもたちの成長を伝え、保護者の方の思いを伺い、保育内容に活かした。
32		子育てを支えるネットワーク形成		
33				
34				
35				
36				

令和4（2022）年学　童　ク　ラ　ブ　事　業　年　間　活　動　報　告　書

清水児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合　計	内　容
		１年	２年	３年	４年	５年	６年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
生活援助機能															
登下館時の安全指導	293														1年生を中心に登下館の安全について指導する
手洗い・うがい・消毒の慣行	293														手洗い、うがい、消毒の習慣を定着させる
ﾊﾝｶﾁ・ﾃｨｯｼｭの携帯指導	293														衛生管理の為ハンカチ、ティッシュを各自持参する
挨拶の慣行	293														挨拶の習慣をつける
片付け・整理整頓指導	293														自分の身の周りの片づけや整理整頓の指導を行う
子どもの状況等の把握	293														各室に職員を配置し子どもの状況管理を徹底する
安全と衛生及び健康管理	293														感染症対策や安全管理を徹底する
遊びの指導と声かけ	293														適切な遊びの提供や指導を行う
おやつの提供	293														毎日の補食としてのおやつの提供を行う
習慣づくりの指導と援助	293														宿題の場所の提供や声掛けをし、習慣作りを行う
(時間の管理・学習時間の設定・朝の会)															
日々の生活における様々な個別対応	293														日々の生活で発生する課題への個別対応
子ども育成機能															
お誕生日やデー	33	247	315	143	217	34								956	お誕生日のお祝いをし、その児童のリクエストしたおやつを食べる
入会式	1	7	7	6	4	2							10	36	新入会の児童のお祝いをする
学童縁日遊び	1	9	10	4	6	2								31	夏休み最終日に水を使ったお祭り遊びをする
体育館遊び	4	24	27	13	19	6								89	体育館を借りて運動遊びをする
ぷにょボール作り	6	9	9	4	6									28	夏休みに工作週間としてぴにょボール作りをする
修了式	1	10	11	5	6	2								34	学童クラブの修了をみんなでお祝いする
子育て支援機能															
連絡帳の活用	293														日々の出来事や伝達事項を連絡帳を通して伝える
小学校との連携	2														小学校とおたよりのやりとりや情報交換をする
専門機関との連携	2														保育園などとも新入会児童の情報交換をする
なかよし発行	12														毎月学童クラブのおたよりを発行する
個人懇談	32												53	53	保護者と個人懇談を行い、児童の情報共有をする。
お弁当いらんデー	4	36	43	20	21	5								125	館で昼食をを発注し、保護者の負担を減らす

＊注１　　行事名は，（１）生活援助機能　（２）子ども育成機能　（３）子育て支援機能に分類して記入すること
＊注２　　２クラス以上の館所で，クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は，行事名と併せて，クラス名を記入すること